

2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月8日

上場会社名 株式会社 Eストアー
 コード番号 4304 URL <https://Estore.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 石村 賢一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 森 淳
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3595-1106

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,167		113		135		94	
2019年3月期第1四半期								

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 95百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	19.81	16.46
2019年3月期第1四半期		

(注) 当社は、2019年3月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率並びに、2019年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	4,448		1,475		33.2	
2019年3月期	4,495		1,404		31.2	

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 1,475百万円 2019年3月期 1,404百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		29.00	29.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		29.00	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当 期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	5,047	2.3	347	32.7	384	34.1	298	27.2

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は年次での業績管理を行っているため、通期のみの開示としております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	5,161,298 株	2019年3月期	5,161,298 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	387,318 株	2019年3月期	387,275 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	4,774,017 株	2019年3月期1Q	5,161,298 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当期は、この数年間取り組んできた収益構造の改革(激戦で低利に向かっているカート事業の依存度を下げることと、対する販促サービスを強化していくこと)をより加速させるため、販促サービスのアクセルを踏み込むこととし、人材資源をそちらに偏重させています。中でも大きく3つ、① 直販EC事業部の代行を目的とした新規大型営業の強化(コンサルティングおよびBPOを提供)、② 既存店舗への販促サービス提供、③ 大型店向けカート事業の開発等になります。

それにより、店舗数は減少を計画していますが、店舗業績および当社サービス利用単価を上げていくことで収益構造の改革を進めています。また、当期は、カート事業で得られる利益の圧迫から減益を計画しています。

当第1四半期連結累計期間は、上述の3つを重視し取り組んでまいりました。

それにより累計店舗数は計画どおり減少していますが、1店舗当たりの流通額および販促サービス受注単価が上昇していることから概ね戦略どおりとなりました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,167,575千円、営業利益は113,789千円、経常利益は135,299千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は94,564千円となりました。

以下、注力業務の内容およびサービス別の業績を説明いたします。

※販促サービス、販促システム、販売システム(ショップサブ)は、前年同期間の単体決算数値と比較しています。また、販売システム(電子認証事業)は、前年8月より子会社化としているため、前年同期間との比較はしていません。

直販EC事業部代行の新規大型営業は、EC市場においてダイレクトマーケティングへの関心度が徐々に増してきたことと法人営業体制への投資を図ってきたこともあり、代行案件の提案量は増えている状況です。ただし、代行案件の受注が計画よりも遅れているため、業績に反映する時期はもう少し先になる見込みです。既存店舗への販促サービスの提供は、今期より営業体制を整え本格的に営業活動を進めてきたこともあり、現状は計画を上回る内容で推移しました。カート事業の開発等は、大型店に寄り添うことを重視し、店舗の業績向上および業務作業軽減に寄与する開発運用に取り組んできました。

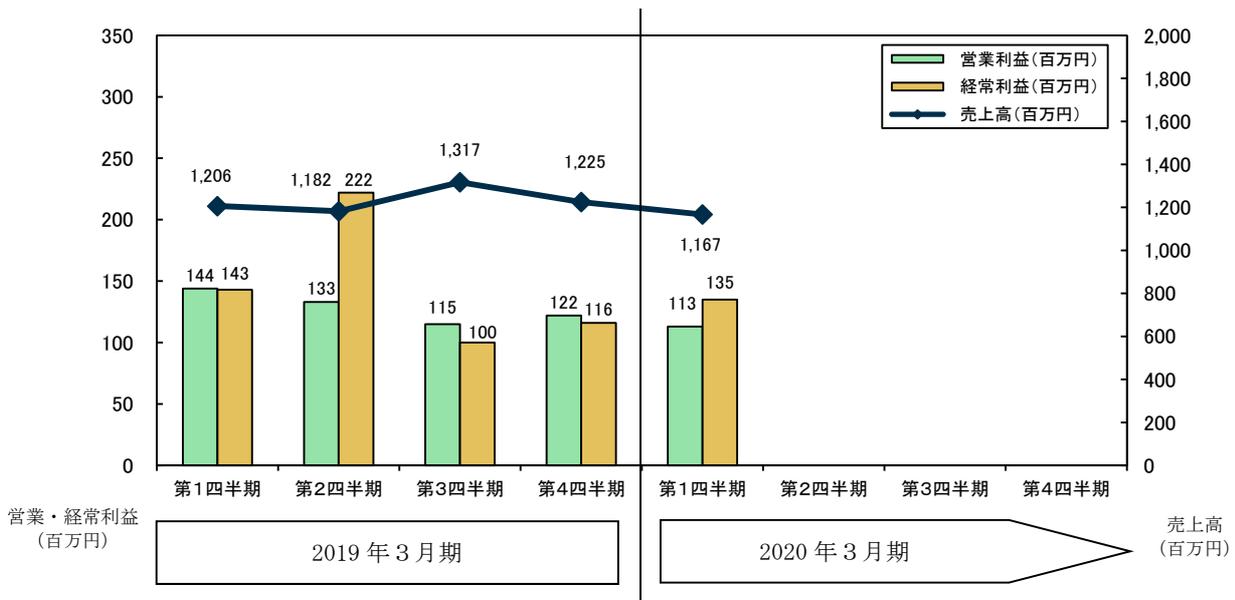
以上により、ソリューション提供(調査分析・コンサルティング、ページ制作、宣伝広告などのアウトソーシング受託)を行う販促サービスは、件数は未達ながら受注案件サイズが上昇したことで、売上高は278,607千円(対前年同期間比4.3%増)となりました。

販促システムのEストアコンペア(ABテストツール)、Eストアクエリー(メールマーケティングツール)は、前年度に営業強化したものの(小規模)既存顧客への販売は早すぎと見極め、営業コストと販売先を見直しながらの活動となり、売上高は3,006千円(同35.6%増)となりました。

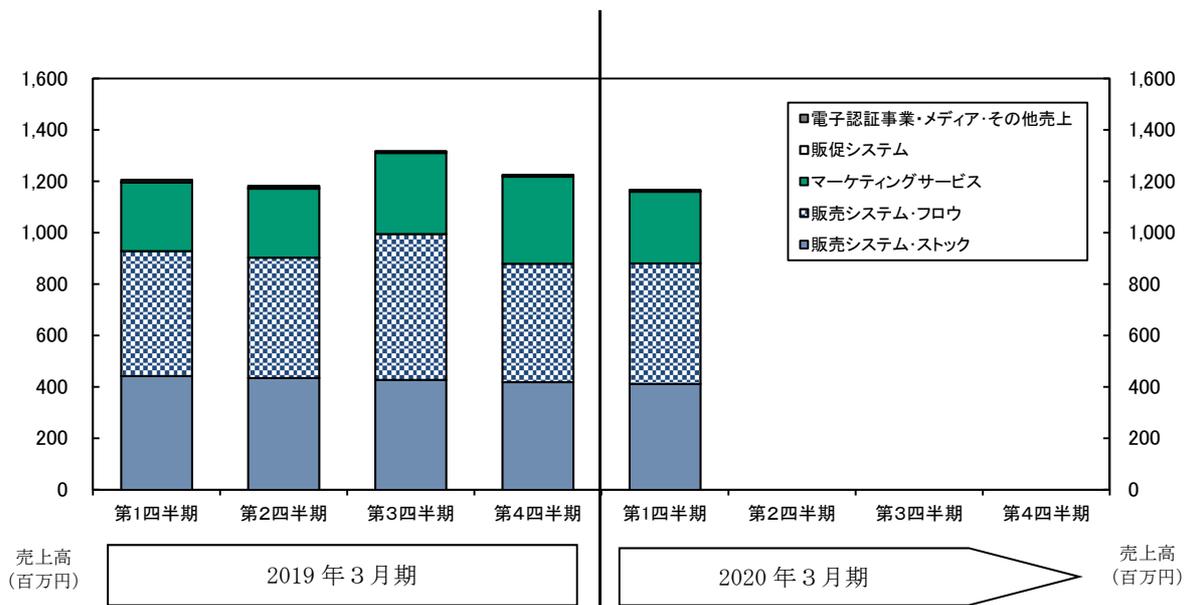
ショップサブを中心としたカート事業の販売システムは、計画どおり累計店舗数は減少し、1店舗当たりの流通額は8%増加しました。それにより、ストック売上高(月間固定料金)は、411,419千円(同7.0%減)、フロー売上高(商規模連動料金)は、469,480千円(同3.4%減)となり、引き続き店舗業績を上げていくことで収益を維持してまいります。

販売システムの電子認証事業は、ブラウザによる「危険サイト表示」を防止し、店舗の売上、利益低下を保全することを目的としてコスト投下していますが、思っていた想定以下の盛り上がりのため、売上高は5,062千円となりました。

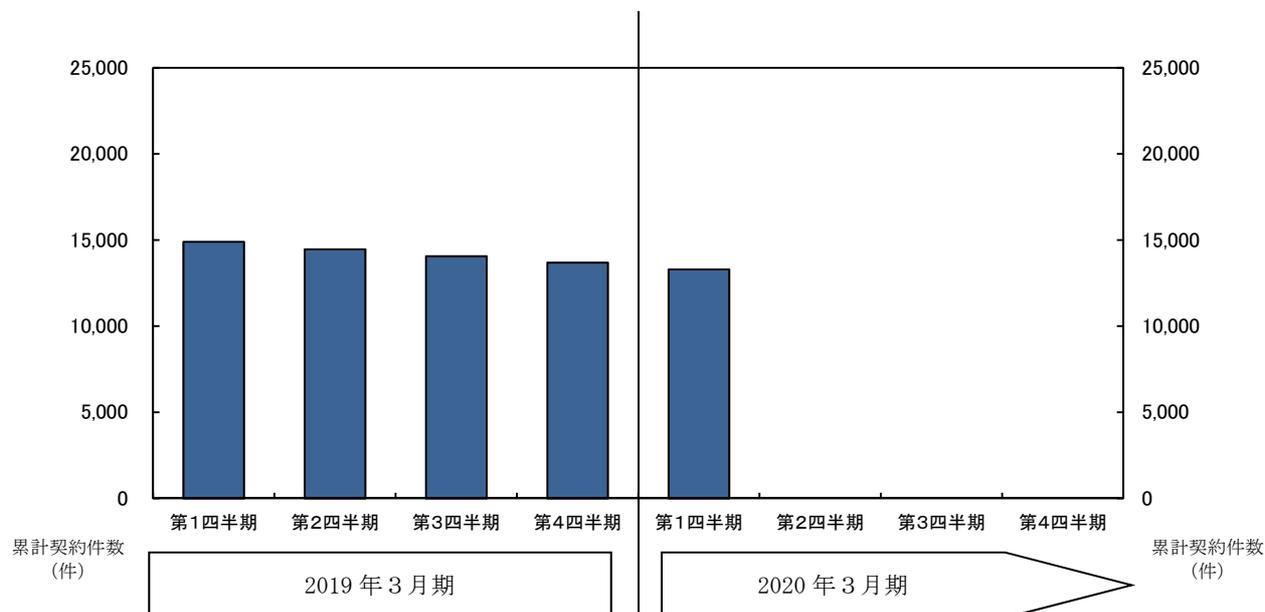
(売上・利益の四半期推移)



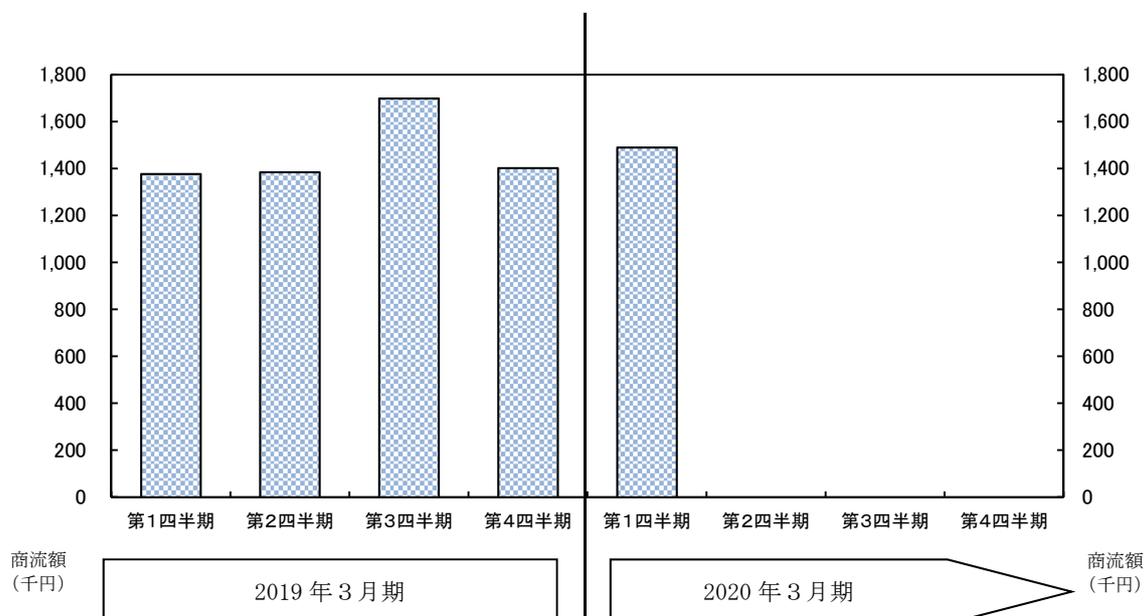
(売上種別)



(契約件数)



(1店舗あたりの商流額)



(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、4,448,101千円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は次のとおりです。

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末比で 47,459千円減少し、4,448,101千円となりました。これは主に、現金及び預金の減少 130,754千円、売掛金の減少 34,191千円、投資有価証券の増加 124,939千円によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末比で 119,033千円減少し、2,972,253千円となりました。これは主に、預り金の減少 74,972千円、未払法人税等の減少 38,396千円によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末比で 71,574千円増加し、1,475,847千円となりました。これは、2019年3月期の配当金支払 138,446千円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益として、94,564千円を計上したことによります。これにより自己資本比率は 33.2%(前連結会計年度末比 2.0ポイント増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月10日付「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,977,193	2,846,439
売掛金	583,681	549,490
貯蔵品	18,408	16,248
仮想通貨	7,426	19,683
その他	125,195	130,264
貸倒引当金	△1,862	△1,745
流動資産合計	3,710,044	3,560,381
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品(純額)	73,509	66,095
その他(純額)	33,080	32,004
有形固定資産合計	106,590	98,099
無形固定資産		
無形固定資産	56,663	50,205
投資その他の資産		
投資有価証券	216,243	341,183
敷金	108,919	108,919
その他	310,779	302,991
貸倒引当金	△13,680	△13,680
投資その他の資産合計	622,261	739,414
固定資産合計	785,515	887,719
資産合計	4,495,560	4,448,101

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	213,064	196,037
未払金	56,491	48,870
未払法人税等	76,794	38,398
預り金	1,604,603	1,529,630
その他	114,588	133,505
流動負債合計	2,065,541	1,946,442
固定負債		
新株予約権付社債	999,600	999,600
資産除去債務	26,145	26,211
固定負債合計	1,025,745	1,025,811
負債合計	3,091,287	2,972,253
純資産の部		
株主資本		
資本金	523,328	523,328
利益剰余金	1,203,610	1,274,780
自己株式	△324,161	△324,196
株主資本合計	1,402,777	1,473,913
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,495	1,934
その他の包括利益累計額合計	1,495	1,934
純資産合計	1,404,272	1,475,847
負債純資産合計	4,495,560	4,448,101

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	1,167,575
売上原価	795,320
売上総利益	372,255
販売費及び一般管理費	258,465
営業利益	113,789
営業外収益	
受取利息	0
持分法による投資利益	9,255
仮想通貨評価益	12,257
雑収入	121
営業外収益合計	21,633
営業外費用	
為替差損	14
雑損失	109
営業外費用合計	124
経常利益	135,299
税金等調整前四半期純利益	135,299
法人税、住民税及び事業税	33,845
法人税等調整額	6,888
法人税等合計	40,734
四半期純利益	94,564
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	94,564

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

		当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益		94,564
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金		438
その他の包括利益合計		438
四半期包括利益		95,003
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益		95,003
非支配株主に係る四半期包括利益		-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

前連結会計年度まで持分法適用の範囲から除外していました株式会社ポイントラグは、重要性が増したため、当第1四半期連結会計期間より持分法適用の範囲に含めています。

(セグメント情報)

当社グループは、単一セグメントであるため、記載を省略しています。